

## 令和5年度 第1回 子ども・子育て会議議事録

### 1 日時

令和5年11月15日(水)午後2時～午後3時30分

### 2 場所

第2庁舎2階会議室

### 3 当日の参加者等

#### (1) 出席委員(10名)

笹原委員、照井委員、金澤委員、柿崎委員、佐々木委員、鈴木委員  
阿部委員、中鉢委員、渡邊委員、星川委員

#### (2) 欠席委員(4名)

須貝委員、川又委員、菅委員、木村委員

#### (3) 事務局(5名)

【子育て推進課】 鈴木課長、有江室長、田中室長、齋藤主査

【学校教育課】 三原主幹

【健康課】 佐藤課長

### 4 会議次第

1. 委嘱状交付

2. 市長挨拶

3. 委員自己紹介

4. 会長及び副会長選出

5. 会長あいさつ

6. 協議

(1) 子ども・子育て会議について

資料 1

資料 1-2~3

(2) 第3期 子ども・子育て支援事業計画について

資料 2

資料2-1~3

(3) 今後のスケジュールについて

資料 3

7. その他

子育て推進課所管施設の整備について

資料 4

## 議事録

### ◇事務局 開会

始めに委嘱状の交付をさせていただきます。子ども子育て会議の委員の任期につきましては2年です。この度新たに委員としてお願いするものなので、市長から委嘱状の交付をいたします。お席の順に名前をお呼びしますので委員の皆さまにはその場でお受け取りいただきます。

～委嘱状交付～

この度委嘱状を交付しまして、委員の皆さまには今後の審議についてどうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。それでは次第に従ひまして市長からご挨拶申し上げます。

### ◆市長

皆さんこんにちは。本日はお忙しいところご出席を賜りましてどうもありがとうございます。皆様におかれましては日頃より本市の子育てにいろいろな形でご貢献いただいておりますことを改めて感謝申し上げますところでございます。ただいま委嘱状を交付させていただきました皆様方には、今後当市の子育て施策についてご議論いただくわけではありますが、各方面のスペシャリストの皆さんがしっかりと地域の子育て環境にご意見を交わして頂くよう、よろしくお願い申し上げます。子育て環境だけにとどまらず様々な問題が発生して大変な現状であると思ひています。国の方でも、こども家庭庁を設置するなどの総括的な子育て支援ということを取り組みをしていますが、我々地域としてどのように連携していくかということも大きな課題です。皆様をお願いするのは来年度から5年間の計画となります、第3期新庄市子ども子育て支援事業計画の策定ということで、議論していただきますが、ご審議頂いて本市の運営の参考にしたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。私からのお願いとご挨拶にいたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### ◇事務局

ありがとうございます。では、今回から新しく委員になられた方もいますので、皆さまからの自己紹介をお願いします。次第の裏面に名簿がありますのでその順にお願いします。

～委員自己紹介～

ありがとうございました。ここで市長におきましては次の公務がございますので、大変申し訳ありませんが退席となります。

### ◆市長

どうぞよろしくお願い申し上げます。失礼します。

### ◇事務局

それでは次第にはございませんが、本会議の事務局からも自己紹介をしたいと思ひます。委員の名簿の下に事務局名簿がありますので順に自己紹介させていただきます。

～事務局自己紹介～

それでは次第に従ひまして次に進めさせていただきます。4番の会長及び副会長の選出でござ

います。新庄市子ども子育て会議条例第6条に会長及び副会長の記載がありますが、第2項で会長は委員の互選により選任し、副会長は会長が指名するとなっております。本会議の会長につきましてどなたかご推薦等ございましたらお願いしたいと思いますが、いかが取り計らったらよろしいでしょうか。

◆〇〇委員

事務局一任

◇事務局

ありがとうございます。ただいま事務局一任の声がありましたので事務局から提案しまして、お諮りしたいと思いますのでよろしく申し上げます。

事務局の案としまして会長は新庄市民生委員児童委員協議会連合会から推薦されました、〇〇委員にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

～委員拍手～

ありがとうございます。では拍手で承認とさせていただきます。〇〇様には会長のご承認をいただきたいと思います。副会長につきましては条例の第6条2項により会長から指名ということになっておりますので、〇〇会長から副会長をご指名いただければと思いますがよろしいでしょうか。

◆会長

はい。前回も新庄市の区長協議会の〇〇副会長にこの会議の副会長をしていただきましたので〇〇委員にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

◇事務局

ただいま会長から〇〇委員を副会長にというご指名ございました。ただ〇〇委員につきましては本日欠席となっておりますので、事務局からご了承の確認等含めて確認させていただき手続きを進めていきますのでよろしく申し上げます。それでは会長挨拶ということで〇〇会長よりご挨拶をよろしく申し上げます。

◆会長挨拶

◇事務局

ありがとうございます。それでは早速次第に従いまして協議に入らせていただきます。協議の進め方につきましては条例第7条の規定において、協議の議長は会長が務めることとなっておりますので〇〇会長から進行を進めていただきます。よろしく申し上げます。

◆議長

それでは協議の(1)子ども子育て会議について事務局より説明をお願いいたします。

◇事務局 (1)子ども子育て会議についての説明(資料1、1-2、1-3の説明)

◆議長

この会議の趣旨等の説明でしたが、何かご質問等ございますでしょうか。もし何か後から質問等ありましたら事務局にお話しいただければと思います。では協議の(2)第3期子ども子育て支援事業計画について事務局から説明をお願いします。

◇事務局 (2)第3期子ども子育て支援事業計画についての説明(資料2、2-1の説明)

◆議長

今説明がございました第3期子ども子育て支援事業計画につきましてご質問、あるいはご意見ございませんか。次に資料の2-2、2-3の調査票について事務局より説明をお願いします。

◇事務局 調査票についての説明(資料2-2、2-3の説明)

◆議長

今の事務局の説明について何か質問等ございますか。せっかくの機会なので委員から少し感想等お聞きできればと思います。〇〇委員、何かありますか。

◆〇〇委員

こちらの調査票と、本市の人口の動向も結構詳しく見ながら聞いていました。私も保育園勤務なので子供の減少や女性の働く率あるいは結構年配の方まで働いているという現状を踏まえて、一体どういった手立てが出来るのかというところを考えていました。

今回はニーズ調査ということもあるんですが、前回のニーズ調査を受けてどういったことをしてきたかというところが一つ。私はあまり詳しくないものですから、お話を伺いたいと思いました。

◆議長

新しい委員の方もいるので、もう1回、前回のニーズ調査の結果を出してもいいのかな。あるいは今回の調査を踏まえて前回と何が変わっているのかというのを説明してもらってもいいのかな。どうでしょうか。前回のニーズ調査と比べて大きく変化があったかどうかという分析みたいのは出てきますか。

◇事務局

前回は平成30年度に実施しております就学前児童800人小学校の保護者800名の合計1600名の方に調査を実施しております、回収率が64%で大体1100件位回収しております。前回の内容につきましては自由記載ということで子育て支援に望むことということで一番多い意見でしたのが、まず遊び場について。新庄市の地域の遊びは子供たちの遊べる場所が少ないとか、高学年でも遊べる場所を作りたい、あとは手当・補助金を拡充して欲しい、あとは保育所の事ですね。未満児の受け入れ枠が少ないとか、0歳1歳児の預けるところが少ない。あとは学童につきましては6年生まで入所させてほしい、地域に学童がない、建物の老朽化。そういったご意見をいただいております。手当・補助金につきましては出産時の祝い金とかって具体的に書かれていますが、入学お祝い金とかそういった事業、今手掛けておりま

すのでこういったニーズを受けてそういった事業展開も広げられているのかなと思っております。

◇事務局

補足します。前回のニーズ調査をし、その結果を踏まえてこの第2期の事業計画を作成しましたが、その中でやっていきたいことを中盤の辺りから記載していますが、それが出来ているかいないかという検証をしなければならないと思っています。それを最後に今後のスケジュールとして説明するつもりでした。子育て推進課だけではなく健康課や学校教育課など市役所の中の様々な課の中で取り組んでいるものになりますので、その辺を取りまとめながら、次回以降資料を作りながら検証し今後この会議の中で意見をいただこうと思っています。なので今時点で一つ一つどうだというのはまだ出来ておりません。

◆議長

〇〇委員さんいいですか。

◆〇〇委員

はい、ありがとうございます。

◆議長

事務局には面倒かけますがよろしくお願いします。〇〇委員さんいかがですか。

◆〇〇委員

ニーズ調査については改善すべきところや、今の保護者・子育て中の方が何を望んでいるのかというのが見えてきそうな細かい調査項目があるので、どんな結果になるのかなと思っています。学童保育園には保育園事業と子育て支援事業部というのがあり、ファミリーサポートセンターも運営しているんですけど、最近の傾向ではファミサポを使う子がどんどん増えています。今は安定しているんですが、去年一昨年底りまで増えていました。何が増えたかというと県のひとり親支援センターの方から「この子も見て、この子も見て」といろんな子が来るんです。ひとり親支援のファミサポよりも増えて、常にひとり親支援っていうのが回っているような気がしていて、新庄市は母子父子家庭が増えてきているのかなと感じています。その辺も踏まえてこの子育て支援計画を作っていただきたいです。一時預かりとかそういったところのニーズ。やはり3世代同居が新庄市には多いと言われているんですが、保護者が自分の子どもを預ける場所の支援や、すごく増えているひとり親への支援などの今後の見通しもこの会議で計画されていけばいいのかなと思います。

◆議長

ありがとうございます。私事で恐縮なんですけど孫が昨日と今日発熱し家に来ています。家は私と妻がいるので自分たちの時間を調整をして孫を見ているんですが、それが出来ない家は少なからずあり大変だろうなといつも思います。〇〇委員さんいかがですか。

◆〇〇委員

私は親の立場でなんですが、自分の子どもを育てる上での不自由な面というのは言う機会がないので、アンケートなどがあるとすごく沢山書きます。日常生活をしている中で「こういうのが欲しい」「こういう困り事がある」というのは、相談する場所がいろいろなところにあるのはわかっているが、出向いたりするのは前向きになれなかったりします。そんな時にこういったすごく事細かになっている調査があるのはありがたいなと思います。ニーズを知っていただける機会にもなるので。そういったニーズや人、場所が繋がる機会があるのはありがたいし、繋がる機会がないという人にはすごく有効なのではないかと思ひ見させていただきました。

◆議長

ありがとうございます。せっかくなので委員の方々、なんでも結構です。何か一言でも二言でもお話しただければと思います。〇〇委員さんいかがですか。

◆〇〇委員

調査をかける際に未就学児童の家1000件、小学校1000件という事でしたけれども別紙資料からすると全世帯の何%くらいが1000人に当たるんですか。3ページ見ると0歳から11歳の児童人口が2728人だからそこから2000人ということですか。

◇事務局

就学前児童の人数が4月1日現在1156名おります。

◆〇〇委員

その内から1000人？

◇事務局

はい。小学生の児童が1541人おりますので1000人というと大体64%くらいでした。

◆〇〇委員

今小規模の学校の校長をしているものですから、抽出したときに本当に困っている人にこの設問が当たらない可能性がすごく高いのではないかと思います。本当に困っている人の声を吸い上げる方法として、この抽出が一番いいのかとすごく悩んでいました。本校でも3分の2位は祖父母と一緒に暮らしており、具合が悪ければ祖父母が面倒みるってことが出来ますが、核家族の家は厳しいだろうと感じました。実際に本校じゃなく学区外通学で日新小とか新庄小に通っている家庭も結構います。聞くと「学童がないから」。そういう生々しい声があります。そういった声を吸い上げられればいいなと思います。実際に放課後の子ども教室は月に1回あるかないかぐらいで、学童がないから新庄の中心部にタクシーで行っています。タクシーは保護者の自腹です。そういった経済的負担をかけている子どもたちを救うような施策がなされるように、今日この会議に来るにあたって保護者や教職員から声をいただきました。ニーズを抽出し大多数はこうでしたというのと同時に少数意見も反映できる会議になるといいなという願いがあります。また抽出に当たらなかった家でも困っている家があるんじゃないかという危惧もしているところ。以上です。

◆議長

ありがとうございます。それでは〇〇委員さん、いかがですか。

◆〇〇委員

私も10年ぐらい委員をしているので今回の第3期に向けてのアンケートというのはスケジュール的にわかるころはあるんですけど、第3期なので令和7年度からですよ。新しく委任状を貰って、新しい委員になった人もいると思うんですが、令和5年度に中間のまとめがあったと思います。その中間まとめがあったのに、どのような検証・分析、そして結果に対して「こうしたらよかったよね」ということが、もう少しこの子ども子育て会議の中で話し合われるといいのかなと思います。問題がたくさんありすぎてたくさん出されるとそれをどのように処理したらいいのかと考えてしまうので。何がベースになっているかということこの子ども子育て会議での審議に意味があると思います。どれだけの施設があって何の・どのような子育て事業が必要なのかということが見えてくるとと思います。少子化と子育て事業は全然違うものだと思っているので、今本当に子供たちの子育て支援のための話し合いをする。少子化になっているというのはわかりますが、少子化と子育てというのは違うような観点なのでは感じているので、その辺も分けてもう少し皆さんの議論や話し合い、意見を戦わせないといけない。それをすることによって必要な事柄が出てくるのかなと思っています。今後の予定として令和5年度、令和6年度のスケジュールが出てきて、これで初めて第3期の令和7年度の計画が出てきて。でも2年後にはもう中間まとめをしなければならない。実際さっき子供の数の話が出てきたが、平成27年から会議の第1期が始まるんですけど、この平成25、6年27年ごろって新庄市の出生数というのが300人。今回令和5年度の数字を見ましたが約180…176ぐらいでした。6割ぐらい。4割ぐらいが減って6割しか残らないっていうのが今10年前の平成25年度の実績なんです。これが10年後もまた4割減ったら110人、108人なんです。SDGS じゃないですが、持続可能なことを考えていかなら、その部分なんかをやっぱり見通して意見を出してもらってやっていかないといけないのかなと感じています。そこら辺で今回の第2期の中間のまとめを令和5年度と令和6年度でもまとめていかないと、また3期目だけで向かっていくのは難しいと感じているのでよろしくお願ひしたいと思います。

◆議長

ありがとうございます。〇〇委員さんお願いします。

◆〇〇委員

少子化というのはずっと聞いていましたが表や数字を見てつくづく感じました。また単独世帯・核家族が増え同居が減っているというのを感じています。うちの保育園は0歳1歳2歳だけの小さい子の保育園なんですけど、ほとんど核家族です。祖父母がいなかったりほとんどどの家庭で近くに住んでいて、お父さんお母さんの意思で核家族になっている家庭がほとんどでした。子どもの体調悪から祖父母にフォローを頼めるかということ祖父母もまだ若く仕事をしているので、誰も看ることが出来ず結局お父さんお母さんが休ませざるを得ないという状況をよく目にします。なのでその辺りは大変だろうなと思います。このニーズ調査もどんな方に当たるのかというお話を聞き、私もちょうど同じようなことを考えていました。この結構な枚数の調査票が手元に届いて、きちんと答えてくれる方が本当にどのぐらいいるのかということにすごく不安があり

ます。以前県の子育て応援団のイベントに参加した時、1枚のアンケートをお願いしますとなっただけでも回答くださる方がすごく少なかったことがあります。その時に話題になったのは今の若い人は「紙に向かって鉛筆持って書く」ということがなかなか無いので、携帯等でパツパツと答えられるネットのアンケートを取り入れることも、回収率を上げることに繋がるのではないかとということでした。アンケートの手段を変えるというのも大事なところなのではないかと感じました。以上です。

◆議長

ありがとうございます。〇〇委員さんいかがですか。いろいろご苦労されているのではないかと思います。

◆〇〇委員

先生方がお話されたことが今思っていたことでした。本当に今のお母さん方がアンケートにどれだけ書けるかなということや、子供の事や自分の意思を伝えようとする気持ちがあっても書けないなどなかなか難しいところもあるのかなと思います。簡単な学童からのアンケートも回答してもらうのが難しいと思うことがあります。市や県に対して要望があるという保護者に対して「こういうところに電話してみたら」と助言しても携帯の行き先のツールを教えて欲しいとか、お母さん同士の繋がりも携帯なのでそういうのがあるのかなと思うのですが。それと今まで90名の学童に居たのですが、そこでなかなか1人1人見てあげられなかったのが今40名の学童に来たら、丁寧に1人1人を見てあげられるということに気持ちが落ち着いてきている。落ち着いて子供を見られるという状況の中で、どれだけ今まで自分の目が行き届いていなかったのかなと思いました。子供たちに大変な思いをさせてしまったり、子育て大変な保護者に私たちが寄り添ったりすることが出来なかったのかなと。そして会長が言われたように大きい学童にはボランティアの先生方がいるんです。小さい学童にいた時と差があまりにもあり、子供の質と言え失礼なのですが、やはり大勢の所にいる子どもと少数の所にいる子どもを見ていると子ども達の心の落ち着きも違うのかなと思いました。退職された先生方でさえも違うと思うのだから、その辺もこれからの課題だなと思います。

◆議長

ありがとうございます。正直ボランティアに行った退職した先生たちの感想はそれぞれ違っていました。〇〇委員さんいかがですか。

◆〇〇委員

挨拶でも申し上げました通り、児童のことは不慣れです。私も〇〇に入って2年程しか経っていませんので、放課後デイサービスであったり早期の発達支援であったりと事業を行っていますが、なかなか現場に入れていません。今回も勉強させていただこうかなと思いつつも、前職の時、20年ぐらい前になりますが療育等支援事業という事業をしていました。様々な大会(集会)がありますがその時に言われているのは「子供の支援は親の支援」ということです。子ども子どもと言いつつも親の支援が相当必要になってきているんだなということを感じています。今〇〇に通っている親御さんたちの支援が立ち行かないという感じがあります。なかなかそこまで支援が出来ずに子供だけでとどまってしまう。本題と離れていますが、やはりもう少し親の方に目を向けた支援をしていくことで子供の支援に繋がっていくのかなと感じました。



◆議長

ありがとうございます。本当に「子の支援は親の支援」だと思います。私の友達もスクールカウンセラーなど様々仕事をしていますがそうだなと感じました。今皆様から考え等を聞き話したいことはありますか。これまでの考えを少しでも活かしてもらって事務局の方どうかよろしくお願ひしたいと思ひます。次に今後のスケジュールについて事務局より説明をお願ひします。

◇事務局

すいません。その前に調査票の中で就学前児童は説明させていただきましたので、次は小学生の調査について説明させていただきます。

～調査票に基づいて説明～

◆議長

今の件に関して何かご質問等ございますか。それでは改めて今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願ひします。

◇事務局 (3) 今後のスケジュールに関する説明(資料3)

◆議長

ありがとうございます。スケジュールについて何か質問等ございますか。それでは協議を以上で終わりたいと思ひます。皆さん本当にご協力どうもありがとうございました。

◇事務局

会長様どうもありがとうございました。協議の中でアンケートの抽出のことなど意見をいただき、どこまで対応できるのかというのはあるかとは思ひますが、前は800、800ということでそれより今回数を増やしたことで、前回は少し回答を多くいただけるのかなと思ひております。費用的な面もありますので今回はこの形でニーズ調査をさせていただきたいと思ひます。次に次第の7番のその他です。委員の皆さまから全体を通してでも結構ですし、何かご意見あるいはこの場を借りて情報提供等ありましたらお願ひできればと思ひます。

◆出席委員より情報提供(省略)

◇事務局

他にございませんか。只今〇〇委員が遅れてご出席いただいたところでした。自己紹介だけよろしいですか。

◆〇〇委員

遅くなり、大変申し訳ございません。一般社団法人とらいあの〇〇と申します。私は家庭では子供の父親、

プライベートでは子供の想像力だったり思考力を鍛える場作り、木工だったり草木染めだったり、そういったものづくり体験を10年ぐらやっています。併せて今仕事でとらいあの中で地元大学の高校生だったり、県から委嘱をいただいているんですけども、地域とか中学校をつなぐ橋渡し役となにかと子どもと接する機会が多く、その中で子どもの健やかな成長って何だろうなって考える機会がありました。そんな時一般公募がありましたので応募させていただいて、一緒にその検討させていただく仲間にさせていただければと思います、今回参加しました。どうぞよろしくお願いいたします。

◇事務局

次回以降もよろしくお願いいたします。本日審議事項については終わってしまうので、後日ご連絡させていただければと思います。よろしくお願いいたします。その他何かございませんか。なければ事務局の方から情報提供がございます。

～子育て推進課所管施設の整備についての説明(資料4)～

～事務局からの連絡事項～

◇事務局 閉会